

学校評価書(令和5年度)

学校法人 浜松平和学園 旭ヶ丘幼稚園長 林 利幸  
 学校法人 浜松平和学園 旭ヶ丘幼稚園 学校関係者評価委員長 伊藤 清子

1. 幼稚園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」					
2. 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画) ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う ○ 教職員の資質向上の1UPを図る					
3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果 ※評価点は、4(十分に成果があった)3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。					
評価項目	園としての取り組み(観点)	自己評価点	幼稚園としての反省と改善策	学校関係者評価委員会評価点	学校関係者評価委員会の意見
① 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか</li> <li>・指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に見合った保育計画を立て、子供たちの実態に合わせて実践しよう努めた。</li> <li>・コロナの収束に合わせて、保育計画や行事の開催方法の見直しを図り、より広い人との関わり合いの場をつくることに努めた。</li> <li>・今後も社会情勢や環境に合わせた方法を見出し、マンネリ化することなく、次年度に生かしていきたい。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より歯磨きの実施の要望があるが、以前歯磨きによる痛みしい事故が発生したことがあり、慎重に検討してほしい。</li> <li>・園外保育は子供どもにとって、環境が変わり新鮮な思い出になるのでこれからも工夫してほしい。</li> </ul>
② 保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個の発達にあわせた保育に心掛けたか</li> <li>・基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか</li> <li>・子供同士の心の通い合いを大切にできたか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの発達のペースに合わせ、個々に対応することで無理なく生活習慣を身に付けることができた。</li> <li>・学年フリーが、子どもの状況に合わせて個別に適切な支援できた。</li> <li>・子供同士のやり取りの中で、相手を思いやる気持ちもてるような声かけや、援助を常に心掛けた。</li> <li>・担任は迎車バス担当を外し、教室に担任不在とならないよう配慮した。</li> <li>・時に安全に対する配慮不足が見られた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣を繰り返し丁寧に指導しているので、小学生になっても身なり、食事の挨拶など園での習慣が今もしっかり身につけている。また、先生方との良い思い出が自己肯定感を高めている。</li> <li>・バス乗務の工夫により、登園時に担任が教室にすることで子供も親も安心する。</li> <li>・進級時に精神的に不安になる事があるので、心のケアに配慮してほしい。</li> <li>・教育課程が年々しっかり工夫がされており安心である。</li> </ul>
③ 教師としての資質、能力、適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか</li> <li>・環境整備に気を配り適切に対処できたか</li> <li>・係の一員として自分の力を発揮したか</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが適した環境の中で、主体的に活動できるよう保育内容を考え、実践することができた。</li> <li>・養護教諭を配置することで、園児の健康管理や怪我、体調不良に的確に対応できた。また、担任の負担軽減にもつながった。</li> <li>・教職員が互いに尊重し合い、どんなことでも相談し今まで以上にコミュニケーションを図る時間を作る。</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育上の課題や子供情報を共有できる場があり、これからも充実させてほしい。</li> <li>・ほし組の担任の配置に配慮がされていてありがたい。ただ、3学期から午睡がなくなってしまうので、そこから派生する課題に対処してもらえたらありがたい。</li> <li>・他園にはない養護教諭の配置は、保護者にとって安心である。</li> </ul>
④ 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園と家庭間の連絡に滞りがなかったか</li> <li>・子供の社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノート、電話、面談を通し子供の成長過程を細かく伝えることで保護者と共有することができた。</li> <li>・昨年度の学校評価アンケートで寄せられた意見要望を参考に、実践可能なことは改善に心がけた。</li> <li>・保護者からの要望には、速やかに且つ丁寧にに対応することで、信頼関係に繋がるため、常に意識をもって対応していく。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に子供の様子を知らせてくれたり、毎月連絡帳に様子を分かり易く記入してくれたらして、とてもありがたい。</li> <li>・先生方の連携がとれており、バスの降園時に担任でなくても子供の情報を伝えてもらえることがありがたい。</li> </ul>
⑤ 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然や施設を活用できたか</li> <li>・地域への開放や子育てへの支援ができたか</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外保育で自然との触合いと公共の場でのマナーを学ぶことができた。</li> <li>・小中高生との交流活動を可能な限り実践し、子供たちに他との関わり合いの楽しさを味わわせることができた。</li> <li>・園開放に加え「にこにこ広場」を開設し、入園児獲得と子育てのサポートを充実させることができた。</li> <li>・年間通してにこにこ広場の充実を図り、地域に交流の場を提供する。</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外での発散が子供には必要なので、園外保育はとてもよい。</li> <li>・交通教室以外に、歩いて園外に出る機会を増やせるとよい。</li> <li>・放送や子供の声等で近所への迷惑を気にしているとのことであるが、自治会で話題に挙がっていないし、子供の楽しい声が聞こえるのはよいことだと思うので安心してよい。</li> </ul>
⑥ 研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会に参加し研修で得たものを保育等の実践に生かすことができたか</li> <li>・園内研修に自分の考えを反映することができたか</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修やキャリアアップ研修で、新たな学びや気づきにより視野を広げることができた。また、学んだことを保育で実践するよう努めた。</li> <li>・園内研修後の意見交換は、自分自身を振り返るいい場となり、資質向上に繋がっている。</li> <li>・公開保育を計画的に行い、保育についての協議会を持つことができた。</li> <li>・今後も園内公開保育を継続すると共に、園外研修内容を全教員に伝達する場を設け、互いの保育力の向上を図る。</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートの内容に気になるときがあり、表現の仕方など研修する場があるとよい。</li> <li>・個々の自己評価が低調であるが、日常の勤務状態を鑑みると全体で研修をするのは難しいと思われる。自己のペースで行うのがいいのではないか。</li> </ul>
⑦ 外部アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度のアンケートで寄せられた意見や提案は真摯に受け止め、可能な内容については迅速に対応するよう心がけた。</li> <li>・「子供にとっての最善」を第一に考え、保護者からの貴重な意見要望を取り入れるか否かの判断について熟議していく。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートに寄せられたように、行事の座席はコロナ禍以前に戻さず、現在の抽選による方法を今後も続けるべきである。</li> <li>・地震について、園舎の耐震はどのようになっているのか、北園舎が古いので心配である。</li> </ul>